

輸送動向について(平成22年9月分)

平成22年10月

1. 輸送概況

今月は、上旬に台風9号が上陸したほか、中旬から下旬にかけて秋雨前線の活発化に伴い大雨等による輸送障害が頻発し、月全体では高速貨108本が運休した。

荷動きについては、輸送障害の影響を受けたものの、上旬を中心に残暑が厳しかったことから季節商品の出荷が好調に推移したほか、昨年は大型連休があったことの反動もあり、前年を上回って推移した。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、積合せ貨物が前年を下回ったものの、食料工業品、自動車部品、化学工業品などが前年を上回り、全体では前年比103.6%となった。食料工業品では、残暑の影響を受けて清涼飲料水が旺盛な出荷となったほか、10月の増税を見据えたたばこの需要の急増により増送となった。家電・情報機器はエアコン等の出荷が好調となった。自動車部品、化学工業品などは前年の生産調整の反動により増送となった。一方、農産品・青果物は北海道地区の野菜類が春先の天候不順及び夏場の大雨・猛暑による生育不良のため大幅に減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石など主要な品目が前年を上回り、全体では前年比101.8%となった。石油は残暑の影響により自動車向けの揮発油・軽油が増送となった。セメント・石灰石は、荷主の生産基地の統廃合に伴い増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,829	1,765	103.6%	10,317	9,806	105.2%
車 扱	806	792	101.8%	4,696	4,677	100.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	191	218	-27	87.6%
	化学工業品	176	164	12	107.3%
	化学薬品	126	124	2	101.6%
	食料工業品	293	273	20	107.3%
	紙・パルプ	265	253	12	104.7%
	他工業品	143	131	12	109.2%
	積合せ貨物	178	185	-7	96.2%
	自動車部品	76	64	12	118.8%
	家電・情報機器	44	36	8	122.2%
	エコ関連物資	31	29	2	106.9%
	その他	306	288	18	106.3%
	コンテナ計	1,829	1,765	64	103.6%
車 扱	石油	512	489	23	104.8%
	セメント・石灰石	132	123	9	107.0%
	車 両	72	79	-7	91.7%
	その他	90	101	-11	88.7%
	車 扱 計	806	792	14	101.8%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)